無償資金協力

案件概要書

2016 年 10 月 25 日

１．基本情報

(１) 国名：パキスタン・イスラム共和国

(２) プロジェクトサイト／対象地域名

① ムルタン国際空港／パンジャブ州ムルタン地域

② ファイサラバード国際空港／パンジャブ州ファイサラバード地域

③ イスラマバード国際空港／パンジャブ州イスラマバード地域

④ カラチ国際空港／シンド州カラチ地域

⑤ ラホール国際空港／パンジャブ州ラホール地域

(３) 案件名：第二次空港保安強化計画（The Project for Airport Security Improvement (Phase 2)）

(４) 事業の要約：

本事業は，主要国際空港（ムルタン，ファイサラバード，イスラマバード，カラチ，ラホール）において，保安機材を整備することにより，空港保安体制の強化を通じたテロ発生リスクの低減を図り，もって同国の安定・バランスの取れた発展に寄与するもの。

２．事業の背景と必要性

(１) 当該国におけるテロ対策の開発の現状・課題及び本事業の位置付け

パキスタン・イスラム共和国（以下「パキスタン」という。）のテロ事件発生件数は，2015 年は 1,009 件と前年比 814 件の減少となったが，イラク（2,418 件），アフガニスタン（1,708 件）に次ぐ世界第 3 位の規模で発生している。

パキスタンは，空港管理者である民間航空庁（Civil Aviation Authority。以下「CAA」という。）が，2015 年国家航空政策（National Aviation Policy 2015）に基づき，テロ行為の標的となりやすい空港において国際的要件に基づく保安対策強化を進めている。近年脅威が増している旅客の受託荷物に隠された爆発物に対しては，その検出をより確実に行うことが急務であり，国際民間航空機関（International Civil Aviation Organization。以下「ICAO」という。）が定める国際基準を満たすべく，パキスタン国内の空港の手荷物及び車両用 X 線検査装置の整備が求められている。

本事業は，パキスタンにおける主要 3 国際空港（カラチ，ラホール，イスラマバード）に対する無償資金協力「空港保安強化計画」（2013 年）（以下「第一次計画」という。）に引き続き，中規模国際空港であるムルタン及びファイサラバード国際空港を対象に空港保安機材の整備支援を行うものである。両国際空港は，日本人の利用が多い主要 3 国際空港と中東諸国との間を結ぶ就航便（直行及び経由便）が多いにも関わらず，現在の手荷物検査用資機材の精度は，機材が古い型式であること等により十分とは言えず，危険物等の持ち込みの可能性が懸念されているほか，保安体制及び機能が不十分であり，主要 3 国際空港の保安レベルまで引き上げることの重要性が指摘されている。なお，両国際空港の一週間の発着便数は，国内第 4 位のムルタン国際空港が 111 便（国際線 86 便，国内線 25 便），国内第 7 位のファイサラバード国際空港が 43 便（国際線 39 便，国内線 4 便）となっている。なお，国内第 5 位と 6 位のペシャワール及びクエッタ国際空港は，退避勧告地域内にあるため，邦人渡航は不可能となっている。

また，第一次計画で支援したイスラマバード，カラチ及びラホール国際空港においても，入国審査体制等更なる保安体制の強化の観点から，追加機材導入の必要性が認められる可能性もあり，うちイスラマバード国際空港については，CAA より追加機材の導入支援の要請を受けている。パキスタンにおけるテロ発生リスクの更なる低減のためには，これら 5 国際空港に国際基準に基づ

く検査体制を確立し，空港内のみならず地域全体のテロ対策に裨益することが重要であり，本事業は保安対策強化を進めるパキスタン政府の政策においても重要案件として位置付けられている。

(2) テロ対策に対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

対パキスタン・イスラム共和国国別援助方針（平成 24 年 4 月）において「経済成長を通じての安定した持続的な社会の構築」が大目標として掲げられており，重点分野（中目標）として「国境地域等の安定・バランスの取れた発展」が定められ，治安改善のためテロ対策支援等を実施し，南アジア地域全体の安定に向け，周辺国との交易や経済協力に寄与する支援の実施に努めるとされていることから，本事業はこれら方針に合致する。

(3) 他の援助機関の対応

2012 年に英国が主要 3 国際空港（カラチ，ラホール，イスラマバード）に「拭き取り式爆発物検査装置（手荷物に残留する爆発物の成分から痕跡物を探知する装置）」を整備した。

(4) 本事業を実施する意義

本事業は，パキスタン政府の開発政策，我が国及び JICA の援助方針・分析に合致するものである。パキスタン主要国際空港における保安検査の国際的要件を満たし，空港保安体制及びテロ対策能力を強化することで，日本人を含む空港利用者の安全性が高まり，また，効果的かつ効率的な運営の確保を助長することで，パキスタンの経済活動の改善と発展に資するものである。また，本事業は，SDGs ゴール 16 における「16.1.あらゆる場所において，すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる」，「16.a.特に開発途上国において，暴力の防止とテロリズム・犯罪の撲滅に関するあらゆるレベルでのキャパシティ・ビルディングのため，国際協力等を通じて関連国家機関を強化する」ことに資するもの。加えて，パキスタンでは，国内の治安対策と合わせ，中東と東南アジアのイスラム諸国のクロスオーバー地点という地理的な観点から，テロに用いられる武器やテロの資金となる麻薬等の国内外の流出入を未然に防ぐべく，空港や港湾等の保安体制及び機能の強化が喫緊の課題となっている。これらを鑑みれば，無償資金協力として本事業の実施を支援する必要性は高い。

３．事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は，主要国際空港（ムルタン，ファイサラバード，イスラマバード，カラチ，ラホール）において保安機材を整備することにより，空港保安体制の強化を通じたテロ発生リスクの低減を図り，もって同国の安定・バランスの取れた発展に寄与するもの。

② 事業内容

イ) 施設・機材等の内容

【ムルタン：機材】受託手荷物爆発検知装置 2 台，機内持ち込み手荷物爆発検知装置 2 台，乗用車両用検査用 X 線検査装置 1 台，大型貨物車両用 X 線検査装置 1 台

【ファイサラバード：機材】受託手荷物爆発検知装置 2 台，機内持ち込み手荷物爆発検知装置 2 台，乗用車両用検査用 X 線検査装置 1 台，大型貨物車両用 X 線検査装置 1 台

【イスラマバード：機材】協力準備調査にて確認

【カラチ：機材】協力準備調査にて確認

【ラホール：機材】協力準備調査にて確認

ロ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：第一次計画の経験を踏まえ，各供与機材の使用や保守管理の操作指導の方法について，協力準備調査にて確認

ハ) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認

③ 他の JICA 事業との関係：特になし。

(２) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：民間航空庁（Civil Aviation Authority: CAA）

② 他機関との連携・役割分担：空港保安隊（Airport Security Force: ASF）が保証期間終了後の維持管理を担う。

③ 運営／維持管理体制： CAA が運営／維持管理体制を担う。CAA は，第一次計画（カラチ，ラホール，イスラマバード）の実施・運用機関でもあり，既に CAA により厳重な空港保安業務が実施されている。また，CAA の年間予算は約 240 億円，うち維持管理予算は約 6.5 億円（2014 年）となっている。維持管理体制については，協力準備調査にて詳細確認する。また第一次計画で供与した機材の維持管理状況についても調査にて併せて確認する。なお，ASF の本事業機材の運営維持管理体制に関しても，協力準備調査にて確認する。

(３) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 □A □B ■C □FI

② カテゴリ分類の根拠：本事業は，「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上，環境への望ましくない影響は最小限であること判断されるため。

(４) 横断的事項：特になし。

(５) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(６) その他特記事項

機材スペックの決定に際し，ICAO の基準やヨーロッパ乗り入れ便の基準等，最新の状況を踏まえて対応する。仮に，第一次計画の供与機材を最新の基準にアップデートする必要が生じた場合には，フォローアップ協力等のスキームによる対応等を検討する。また，基本設計の検討に際しては，車両運転手，機材操作者等の安全面にも留意した計画づくりを心掛ける。

４．過去の類似案件の教訓と本事業への適用

過去の同セクターの類似案件の評価等において，納品直後は問題なく使用できた導入機材が，CAA 職員や現地メンテナンス業者の能力不足等により不具合が生じたことが指摘され，調達据え付け及び運営指導にかかる体制構築までを考慮して案件形成を行うべきであったとの教訓が得られている。本事業では，上述のとおり，調査にて維持管理体制を確認の上，ソフトコンポーネント等により体制構築及び運営指導，運用指導者育成等を強化し，空港管理者である CAA の運営維持管理能力の向上を図る。

以 上

［別添資料］地図

別添

第二次空港保安強化計画　地図

：対象都市（ムルタン，ファイサラバード，イスラマバード，カラチ及びラホール）